

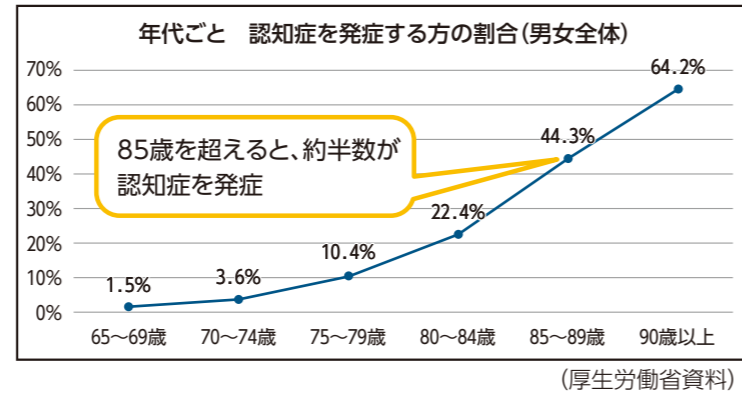
考えよう、身近な病気 認知症

認知症を他人事と思わずに、皆さんも認知症について学び、考えてみませんか。

■問／長寿福祉課 ☎529-5064

認知症とは？

認知症とは、脳の病気により引き起こされる症状や状態のことです。令和2年時点の認知症患者数は全国で602万人と推計されており、令和7年には約700万人(高齢者の約5人に1人)に達すると見込まれています。今や認知症は誰もがなる可能性がある身近な病気です。



認知症になっても、自分の好きなことを行い、楽しみながら生活されている方も多くいらっしゃいます。今回は、認知症の方ご本人、介護をされたご家族、地域の相談先(専門職)の皆さんにお話を伺いました。

ご本人の立場から



▲ご本人(60代、男性)
通所介護(デイサービス)では農作業をされています

—日頃から楽しんでいることは？

昔から豚やヤギ、にわとりを飼っていて動物が好きなので、今は犬との生活をしています。毎日の犬の散歩は欠かせません。ちゃんとやったの？と妻からも言われるからね(笑)

—励みになっていることは？

年に数回、息子や孫が帰省して庭でバーベキューをすることです。あとはデイサービスの農作業で草むしりやキュウリの支柱立てなどを行った時に感謝されると嬉しいです。農

作業は力を入れて頑張ってますからね。

野菜が採れたら、皆さんに買ってもらって、そのお金で回転寿司に行くことを目標にしたいです。

—デイサービスでは、いつも仲間と盛り上げて話をしたり、励ましてくれています。認知症になっても、今までと変わらない生活を、いきいきと過ごされています。

—ご両親を長年介護された中での家族の会との出会い

両親の介護中に家族の会に参加して「大変なのは自分だけではない」とわかり、話を聴いていただき助けてもらいました。皆さんが介護の大変さを分かってくれるので、安心して話ができました。

相談会では涙ながらにお話をされる方もいます。同じ思いをした者として、しっかりと話を伺います。皆さんの知恵で「こうしてみたら」というアドバイスが上手くいくこともあり、初めて来た方にも「参加して気持ちが軽くなった」と言ってもらえます。

—今、介護中の方へ

ご夫婦やご兄弟の老老介護も多くなったように思います。頑張りすぎている方も多く感じ、皆さんには頑張りすぎないでほしいです。家族の会は悩みや不安などを話せる場所です。毎月1回の相談会は気晴らしになります。ぜひ話をしに来てください。

■問／認知症の人と家族の会 ☎521-2760

ご家族の立場から



▲(公社)認知症の人と家族の会 福島地区会
代表：土屋章子さん(右)
副代表：三浦美佐子さん(左)

地域の相談先の立場から



▲認知症初期集中支援チーム(あずま通りクリニック) 認知症専門医の小林直人さん

—認知症は早期発見・治療が重要

年齢を重ねれば誰もがなりうるのが「認知症」です。認知症をその前段階の軽度認知障害(MCI)の状態から見つけて早期に関わることは、その後の生活の質を良い方向に変えることにつながります。

「認知症初期集中支援チーム」は、医療や介護に適切に結びついていない在宅で生活されている認知症、または疑いのある方のご自宅を訪問させていただき、病気の状態を評価するなどして、専門治療

につなげる役割を担っています。自分は大丈夫だと思ひ込み、トラブルが増えてから受診するケースが後を絶ちません。受診ができないような場合は、支援チームが関わらせていただきますので、まずは主治医の先生や地域包括支援センターなどに早めにご相談ください。

■問／認知症初期集中支援チーム ☎572-4611

地域の相談先の立場から



▲認知症地域支援推進員(清水西地域包括支援センター) 佐藤朋裕さん

—認知症地域支援推進員とは

認知症地域支援推進員は、医療機関や各種関係機関と連携を図りながら、認知症の方やそのご家族などへの相談支援を行っています。

その他にも、住民の皆さんが認知症についての正しい知識と理解を深められるような普及啓発も行っています。認知症の方の尊厳を保ち、できる限り住み慣れた地域で生活が続けられる、認知症の方もそうでない方も共生できる地域づくりにも取り組んでいます。

—ご自身やご家族などのもの忘れ・認知症が気になる方へ

認知症地域支援推進員は市内22カ所にある地域包括支援センター全てに配置されています。身近な相談先になっておりますので、気になることがございましたらお気軽にご相談ください。

■問／担当地区の地域包括支援センター 担当の地域包括支援センターについては市ホームページをご覧ください。



地域の取り組み

地域で支えあえる活動の推進を中心に、さまざまな取り組みを行っています。

認知症高齢者等見守り声かけ訓練

道に迷う高齢者への声のかけ方体験や、地域のネットワークを活用した捜索訓練などを行います。



▲松川町水原地区では地域の皆さんが参加して見守り訓練を実施

認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る「認知症サポーター」を養成しています。企業や小・中学校・地域など多くの方が受講しています。



▲イトーヨーカドー福島店ではスタッフの方々が認知症サポーター養成講座を受講

- 9月21日(世界アルツハイマーデー)から23日まで、東北電力ネットワーク(株)福島電力センターの鉄塔を認知症のテーマカラーであるオレンジにライトアップし、市民に向けて認知症を啓発します。(予定)
- 9月14～29日には市立図書館で認知症関連図書の展示・貸し出しを行います。この機会に、認知症について学び、考えてみませんか。

